

BCJ-SAR

ISO だより

Vol.39

一般財団法人日本建築センター  
The Building Center of Japan

## システム審査部発行

〒101-8986 東京都千代田区神田錦町 1-9

TEL 03-5283-0476

FAX 03-5281-2827

ホームページ <http://www.bcj.or.jp>Eメール [sinsa@bcj.or.jp](mailto:sinsa@bcj.or.jp)

ISOだよりの所有権はシステム審査部に帰属します

## 我が社のISO(その31)

株式会社 奥野設計  
常務取締役 統括技師長  
山崎 貞信

## 「今なぜISOなのか」

こんな言い方をすると日本建築センターの方々に申し訳ないですが、“今さらなぜISOなのか?”という考えを払拭するところから、弊社のISO取得はスタートしました。

弊社は、意匠設計に加え、構造設計、設備設計の各専門部門を擁する総合設計事務所として、また創設60年を超える歴史において、様々な用途の建築設計を行ってまいりました。なかでも、特に福祉・医療分野の建築に於いてはその実績を認めていただけるポジションにあるという自負もございます。

そんな弊社が最初にISOに取り組もうとしたのは、1990年代の終わり頃であったと思います。まさにISOというものにスポットが当たり、建築の世界でも

各企業が取得を目指した頃です。その時は大きく構えすぎて、結局頓挫してしまいました。つまり、正確に言うと今回の取得は再スタートによるものなのです。

組織としては常に改善に向けての取り組みを続けてきたわけですが、特に2年前位からは改善を具体化する仕組みづくりについて組織をあげて推進してきました。そのなかで、“ではISOを活用したらどうなんだ”というトップの声から再始動となりました。

よって、今さらなぜということではなく、自分たちの仕組みとしてISOを活用しよう、との考えを浸透させるところから取り組みをはじめたわけです。

## 「ISOのためのISOはやらない」

設計の仕事をする上では、大まかに言って「工程管理」「品質管理」「予算管理」が重要です。顧客満足を得るためにも、社会的資産ともいえる建築を残していくためにも、実務に於いて必要なことです。ISOをその実践ツールとするべく、弊社にとって実効性のあるシステムとしたいと考えました。ISOの認証取得が目標ではなく、自分たちの業務の実際に即したシステムとすることを念頭に、できるだけ簡素なシステムとする、その上では文書を減らす、ということをめざしました。

## 「設計事務所とISO」

ISOのためのISOはやらないと言

ったものの、それは一方では設計事務所としてあるべきISOの解釈をしたいと言うことでもあり、例えば製品の定義などはこだわりをもちました。審査員の方々との意見交換もさせていただき、成果物である設計図書や報告書のみではなく、設計・監理の業務（サービス提供）も含めて“製品”であると定義いたしました。ここはある意味では、自分たちでハードルをあげてしまったと言えるかも知れません。

\* \* \* \* \*

本年7月に何とか認証取得はさせていただきましたが、実のあるシステムとして活用していくのはこれからです。社内での浸透、定着は未だ道半ばの感があります。

規格の要求事項には当然応えていかななくてはなりません、今後運用していくなかで、より弊社の業務に対して有効な、更には設計事務所としての社会貢献においても有益なシステムとなるよう、改善をしていきたいと思えます。

**株式会社 奥野設計の概要**

1952年 創業

主な事業内容：建築物の設計及び監理

所在地：東京都



**審査員の日(その35)**



**片倉 忠弘**

**システム審査部 登録審査員**

**JRCA/CEAR登録主任審査員**

**『品質目標、環境目標の活用』**

品質目標や環境目標の取組みにより成果が得られているのでしょうか。また、目標を達成する事への関心の程度はいかがでしょうか。

ISO9001、ISO14001の運用に関わらず、生活をしていく上での様々な場面で目標の必要性は示されており、その達成感を感じることで成長していくことができることは、誰しも認識されていると思えます。

組織にとっても、目標があって皆が取り組み成長するものなのでしょう。

マネジメントシステムとは、ISO9000：2005で「方針及び目標を定め、その目標を達成するためのシステム」と定義されています。規格には色々な要求事項がありますが、目標を設定し、達成するための活動を行う事が主要な要求事項であり、組織の活動としても主要な活動になっているはずで。

審査で確認することも目標に関わることが主となっていますが、組織によって様々な取り組みが見られます。気になるのは、本来業務として行うべき維持活動が目標となっていたり、数年間同じ内容であったり、既に達成している事項を目標として設定していることなどがあります。これは目標により組織が何を目指すのか、どのように活用するのかなどが明

確でないことから生じているものと思われる。

まずはトップが目標として何を指すのか、何を期待するのかを、方針や全社目標などで具体的に示すことが必要ではないでしょうか。

トップが必要とする目標を示せば、その目標を達成させるための方法や期限や責任者を明確にして取り組み、その進捗管理も頻度を多くして、達成させるために様々な進捗調整を実施する必要性が出てくるでしょう。

また、それらの活動を通して、内部コミュニケーションの重要性が高まり、是正処置や予防処置による改善が進み、日常業務の標準化を進め確実な維持管理を構築して、異常発生を最小限にすることが必要となります。

さらに必要な目標を達成することで経営指標が良くなり、社員の問題解決能力の向上や達成感による意識向上など、組織の体質改善や人材育成の手段としても成果に繋がることでしょう。

マネジメントシステムがマンネリ化しているとの課題も審査ではお聞きすることがありますが、マネジメントシステムの基本である目標への関心を高めることに、トップ自らが目を向けてみてはいかがでしょうか。



## 労働安全衛生マネジメントシステム 認証業務開始のお知らせ

一般財団法人日本建築センター システム審査部（BCJ-SAR）では、品質マネジメントシステム認証業務及び環境マネジメントシステム認証業務に加え、本年10月より労働安全衛生マネジメントシステム認証業務を開始することとなりました。

### ◆認証取得にあたって

認証の手続き等については、既に品質マネジメントシステム及び環境マネジメントシステム認証業務でご経験のある認証取得と同様の手順で実施いたします。

### ◆認証に係る料金について

既にBCJ-SARにて品質マネジメントシステムや環境マネジメントシステム、またはその両方を認証取得されている組織様には、認証に係る料金については特別価格とさせていただきます。

労働安全衛生マネジメントシステムの認証取得をお考えの組織様におかれましては、是非お気軽にお問い合わせください。

## マネジメントシステム規格の改正状況（その2）

### ◆《品質》IS09001 の規格改正は国際規格案（DIS）が発行されました。

IS09001 規格の改正は、2014年5月にDIS（国際規格原案）が発行されました。今後はFDIS（最終国際規格原案）という段階を経て、2015年の改定に向けて順調に作業が進められています。現在のところ国際規格（IS）として発行される予定は、2015年9月頃とされています。

なお、2015年版への移行は、国際規格発行から3年間とされています。

## ◇《環境》ISO14001の規格改正は国際規格案(DIS)が発行されました。

ISO14001規格の改正は、2014年7月にDIS(国際規格原案)が発行されました。今後は2015年4月頃にFDIS(最終国際規格原案)の発行という段階を経て、現在のところ国際規格(IS)として発行される予定は、2015年6月から7月とされています。

### ISO9001/ISO14001規格改正説明会を開催致します！

ISO9001とISO14001の2015年改正に向けて、現在国際規格案(DIS)がそれぞれ発行されております。

一般財団法人日本建築センター システム審査部(BCJ-SAR)では、ご登録頂いている組織様に、無理なく、また無駄なく円滑に改正規格への移行を行って頂くため、規格改正の説明会を開催させていただきます。

説明会では、システム審査部所属の審査員及び審査担当責任者が講師となり、次の内容をご説明致します。

- ・現行規格から変更がない要求事項、または削除された要求事項の内容
- ・現行規格から追加された要求事項の内容とその解説
- ・追加された要求事項に対する対応の具体例
- ・現行規格から改正規格移行にあたっての手続き

なお、「2015年版移行ガイド(規格要求事項比較とその解説)」をテキストとして使用し、配付させていただきます。

第1回、2回の東京開催についてはいずれも満員となりましたが、第3回の東京開催及びその他の会場についてはまだ空

席がございます。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

【開催日／開催地／会場】2014.9.10日現在

開催日	開催地	会場	定員
11月11日(火)	東京都千代田区	日本建築センター会議室	満員
11月13日(木)	北海道札幌市	札幌市教育文化会館	20名
11月14日(金)	青森県青森市	青森県観光物産館アスパム	20名
11月20日(木)	福岡県福岡市	リファレンス大博多貸会議室	20名
11月21日(金)	鹿児島県鹿児島市	鹿児島県青少年会館	20名
11月25日(火)	群馬県高崎市	ビエント高崎問屋街センター	30名
11月27日(木)	大阪府大阪市	大阪府建築健保会館	30名
11月28日(金)	香川県高松市	サンポートホール高松	20名
12月2日(火)	東京都千代田区	日本建築センター会議室	満員
12月11日(木)	東京都千代田区	日本建築センター会議室	50名

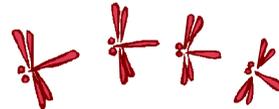
### ■2014年度下期認証判定会議の日程は下記のとおりです■

品質、環境とも同日開催です。当センター(東京都千代田区)にて開催致します。

2014年(平成26年)	
10月22日(水)	13:30～
11月26日(水)	13:30～
12月24日(水)	13:30～
2015年(平成27年)	
1月28日(水)	13:30～
2月25日(水)	13:30～
3月25日(水)	13:30～

## ■再認証を迎える組織の皆様へ■

審査時期によっては、審査が混み合う事が予想されますので、余裕をもってマネジメントシステム認証申請書（品質／環境）をご提出いただきますようお願いいたします。（マネジメントシステム認証申請書の他に「マネジメントシステム認証申請者調査表」のご提出が必要になります。）申請書及び調査表は、一般財団法人 日本建築センターホームページよりダウンロードできます。  
<http://www.bcj.or.jp>



### 編集後記

今年の夏は、特に西日本で台風や大雨による土砂災害などの甚大な被害のニュースがテレビ等で報じられました。

一方、関東近辺などは今までと同様、非常に暑い夏でしたが、8月の下旬にはそれまでとは一変して、秋を思わせるような少し肌寒い日も続きました。気候の変化が例年になく激しいので、体調管理には十分お気をつけ下さい。

さて、ご案内のとおりシステム審査部では、10月より「労働安全衛生マネジメントシステム」認証業務の開始、またISO規格の2015年改正（DIS版）についての説明会を11月に全国各地で開催することなどが予定されています。

普段はなかなかお目にかかれない組織の方々と、この機会を通じて交流ができること楽しみにしております。

また、ISO規格の2015年改正（DIS版）についての説明会が、少しでも組織様のMSの構築や運用にお役にたてれば幸いです。

